

全県連盟宛 19-066 号（総）

平成19年11月16日

ボーイスカウト都道府県連盟

理 事 長 各 位

県連盟コミッショナー 各 位

財団法人ボーイスカウト日本連盟

教育本部コミッショナー 井 上 保

（ 公 印 省 略 ）

## 冬 季 の 活 動 に 向 け て

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、本連盟の諸事業、各種プログラムにご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、日本連盟におきましては毎年、各隊・各団・各地区における夏季の諸活動について事故防止に向けた安全意識の喚起、並びに安全態勢の強化を呼びかけておりますが、平成17年より運用を開始いたしました、「日本連盟傷害共済制度」の中において事故の発生データを集めました所、夏季活動での事故に加え冬季の活動、特にスキー、スノーボード、スケート訓練実施時の事故が多く発生し、しかも骨折等の重傷事故に繋がっている事が判明いたしました。この結果に基づき、昨年始めて冬季の活動に向けての安全対策注意喚起をお願い申し上げましたが、平成18年度の事故発生の中においても、依然冬場の事故（特にスキー、スノーボード、スケートでの事故）は減少していない状況です。

つきましては、冬季のスキー、スノーボード、スケート等における安全について、事前の準備訓練や実施時の安全対策・安全用具の着用（ヘルメット、プロテクター、手袋等）に十分に留意されますよう、貴連盟指導者各位への周知をお願い申し上げます。

また、夏季活動に向けての安全喚起文書でもお願いいたしましたが、冬季活動を含め指導者自身の事故発生が全体の20%を占め、骨折や捻挫、脱臼、肉離れ等が多く目立ちますので、指導者自ら事故を起こさないよう自己管理を徹底していただきたく重ねてお願いいたします。

敬具

## □スキー、スノーボード、スケートの安全について

スキー、スノーボード、スケートの活動においては、一般的な安全対策に加え特に次の事項に留意下さい。

- 1) 自分の体調や能力、地形や気象の状態、その他の状況に合わせたコースや滑り方に心がけ、自分の技術以上の斜面での滑降、スピードの出し過ぎ等が事故に繋がっているため注意する事。
- 2) 事故は、団体やグループで指導を受けている場合では少なく、指導者の目の届かない自由滑走時に多く発生している。以上を踏まえ、状況に応じ具体的な指示、指導を徹底し安全確保に努める事。

この件についての問い合わせ先

事務局 総務グループ TEL 0422-31-5161